2026年12月20日(日) 開演13時半～

彩の国さいたま芸術劇場・映像ホール（与野本町駅徒歩7分）

講談

神田香織『はだしのゲン』

前座 一龍斎貞昌

続編－踏まれても麦のようにまきろ、ゲン！－
原作 中澤啓治 中澤ミサヨ

& 金澤伶 スペシャルトーク



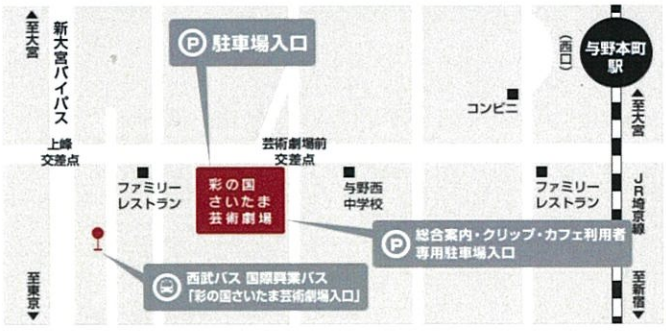
2026年 年末・文化の集い
～平和の文化・世代を引き継ぐ～

1945年8月6日から玉音放送が流される15日までのゲンが体験した9日間。
被爆したがために差別される現実を講談師神田香織が語ります。



神田 香織 福島県いわき市出身。劇団を経て、1980年講談師二代目神田山陽門下生となる。二つ目以降、ジャズ講談や一人芝居の要素を取り入れた独自の講談を次々発表。
「はだしのゲン」「チェルノブイリの祈り」「フラガール物語」など新境地を切り開いている。3.11震災以降降、NPO法人「ふくしま支援・人と文化ネットワーク」を立ち上げ、ふるさと福島を支援。2024年度澄和平和活動賞受賞。
一般社団法人講談協会副会長。

金澤 伶 東京大学教養学部国際関係論専攻。全国の学生と学費負担軽減や高等教育予算拡充のための運動を展開。移住者と連帯するネットワーク（移住連）スタッフ。差別・排外主義政策に抗議し、社会保障・人権・戦争加害の歴史継承の問題に精力的に取り組む。編著『学費値上げに反対します：学生たちの生活と主権』（地平社）。第22回相磯まつ江記念 「法と民主主義賞」受賞。



■呼びかけ ・12.20 神田香織・金澤伶実行委員会

入場・チケット 1999円

★2026年12月20日 開場13時、開演13時半
★彩の国さいたま芸術劇場・映像ホール（150名）
★講談 神田香織（前座 一龍斎貞昌）、トーク金澤伶、二人対談 神田香織・金澤伶

■連絡先 荒畑、今井、武内、辻、山田（武内 090-2173-2591 / takeuchi-one.123@docomo.ne.jp